

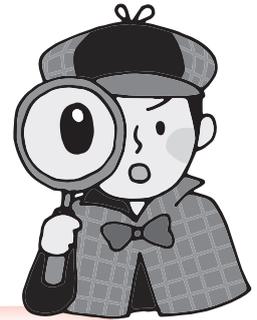
北名古屋市議会だより vol.58

# まはる



# きた なごや市議会を しる

定例会での一般質問のその後どうなったか…。



## 子ども医療費の手続について

北名古屋市の子ども医療費の助成は、市役所で償還手続が必要でとても面倒である。簡素化できないか？

・平成23年第4回 定例会

### 答弁

医療機関や関係機関との調整が必要であり、今後検討する。

## 空き家対策の推進について

空家等対策の推進に関する特別措置法が平成26年に公布され、平成27年に施行されたが、北名古屋市の状況は？

・平成27年第2回 定例会  
・平成28年第2回 定例会

### 答弁

空き家問題について今後調査を行い、計画の策定等検討する。

## 乳がんに対する 取り組みについて

早期発見に役立つセルフチェックシートを配布しては？

・平成28年第3回 定例会

### 答弁

自宅での自己検診法は欠かせないものなので、今後検討します。

## CONTENTS

第3回定例会の結果……………	P 4	委員会における審査報告……………	P15
モニター意見箱……………	P 5	平成29年第4回定例会の予定……………	P19
一般質問……………	P 8	議員紹介・表紙紹介・編集後記……………	P20

## 受給者証が交付されました!!

受給者証を交付し、平成26年8月から市内の医療機関で受診した場合、受給者証を提示することにより、市役所での償還手続きが必要なくなりました。(ただし、市外で受診した場合などは、市役所での償還手続きが必要です。)

北名古屋市内的のみ有効	
(子) 子ども医療費受給者証 <span style="float: right;">医療費給付 1割</span>	
<small>※他の公費と併用する場合は使用できません。</small>	
公費負担者番号	8 1 2 3 9 9 9 8 (入院 81230005)
受給者番号	
受給者	住所
氏名	
子ども	氏名
	生年月日
有効期間	
発行機関名及び印	北名古屋市長 
交付年月日	
<small>この証は、被保険者証(又は組合員証)に添えて、医療機関等の窓口にて提出してください。</small>	

## 計画の策定に向けて!!

平成27年度に市内の現地調査を行いました。今年度、空家等対策計画を策定し、平成30年度に空家対策協議会の設置を目指します。



## 無料配布始めました!!

乳がん検診受診時に、風呂場の壁などに貼って入浴時に自己チェックできるセルフチェックシートを今年度配布しました。



乳がんチェックシート

## 《皆さんの声をお聞かせください》

議会だよりをリニューアルして2年が経過しました。より充実させるため、皆様からのご意見ご感想をお聞かせください。

- メール [giji@city.kitanagoya.lg.jp](mailto:giji@city.kitanagoya.lg.jp)
- FAX (0568) 23-3140



# 平成29年 第3回定例会の結果

会期29日間 8月30日～9月27日

## 今回の議案

決算の認定 .....	7件	補正予算 .....	5件
特別会計予算の制定 .....	1件	条例等の制定及び改正 .....	5件
意見書(議員提案) .....	2件		

議案番号	議案名	議決結果
議案第36号	平成28年度北名古屋市一般会計決算の認定について	賛成多数 認 定
議案第37号	平成28年度北名古屋市土地取得特別会計決算の認定について	全員賛成 認 定
議案第38号	平成28年度北名古屋市国民健康保険特別会計決算の認定について	賛成多数 認 定
議案第39号	平成28年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	
議案第40号	平成28年度北名古屋市介護保険特別会計決算の認定について	
議案第41号	平成28年度北名古屋市西春駅西土地区画整理事業特別会計決算の認定について	
議案第42号	平成28年度北名古屋市公共下水道事業特別会計決算の認定について	全員賛成 原案可決
議案第43号	北名古屋市個人情報保護条例及び北名古屋市情報公開条例の一部改正について	
議案第44号	北名古屋市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	
議案第45号	平成29年度北名古屋市一般会計補正予算(第2号)について	
議案第46号	平成29年度北名古屋市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	
議案第47号	平成29年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	
議案第48号	北名古屋市健康ドームの設置及び管理に関する条例等の一部改正について	
議案第49号	平成29年度北名古屋市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	
議案第50号	平成29年度北名古屋市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	
議案第51号	北名古屋市北名古屋沖村西部土地区画整理事業特別会計条例の制定について	

- 議案第52号 平成29年度北名古屋市北名古屋沖村西部土地区画整理事業特別会計予算について
- 議案第53号 名古屋都市計画事業北名古屋沖村西部土地区画整理事業施行条例の制定について
- 議案第54号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出について
- 議案第55号 道路整備予算の確保及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書の提出について

全員賛成  
原案可決

今号では、色の付いている議案をピックアップします。  
なお、議案質疑等は委員会のページ(P15～P18)に掲載しております。



全ての議案内容は、北名古屋市ホームページの「議案・請願とその審議結果」をご覧ください。

### インターネットで議会の録画中継や議案の審議結果等が見られます

北名古屋市議会では、インターネットで議会に関する様々な情報をご覧いただくことができます。



是非、この機会に市民の皆様のアクセスをお待ちしております。

北名古屋市議会 検索

※通信料等はご利用者負担となります。

ホームページはこちらから



### 市議会モニター意見箱 ～第3回 定例会～

平成29年度の市議会モニターは8名の方が活躍しています。  
ここでは、いただいたご意見を紹介します。

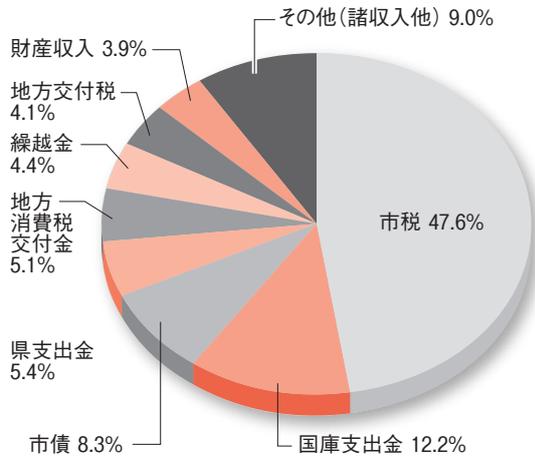
- ・傍聴用の資料が膨大なため、机を配置してほしい。
- ・一般質問が13名と、多くの質問があり、積極的で活気に満ちていた。
- ・質問の内容が長く、簡素化してほしい。
- ・答弁の内容がとてもわかりやすく、良かった。
- ・熱意に満ちた委員会が傍聴できた。

その他沢山の貴重なご意見、ご提案をいただきました。今後の議会運営に役立てていきたいと思っております。



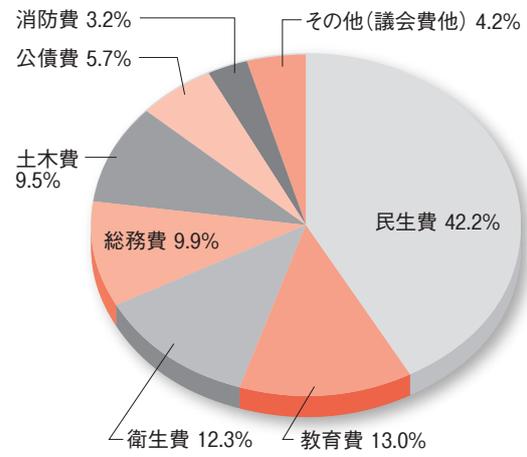


一般会計（歳入）



総額284億1,806万円、前年度比較16億8,694万円減少

一般会計（歳出）



総額275億3,051万円、前年度比較13億1,447万円減少

市 税	市民税・固定資産税など
国庫支出金	国からの補助金など
市 債	市が借りるお金
県支出金	県からの補助金など
地方消費税交付金	地方消費税の一部で市に交付されるお金
地方交付税	国税から配分される交付金
その他(諸収入他)	延滞金や預金利子、使用料など

民 生 費	お年寄りや障害のある方への援助、生活保護、保育園の運営など
教 育 費	小中学校、図書館の運営など
衛 生 費	ごみ・し尿処理や各種健診など
総 務 費	市役所の管理、選挙事務など
公 債 費	市が借りたお金の支払いなど
消 防 費	消防・災害対策など
そ の 他	農林水産費・商工関係・予備費など

歳出における主な事業

- 利便性の向上と安全で快適な保育環境の整備を進めるため九之坪保育園建設に着手した。
- 快適な学習環境を確保するため、小学校全校の普通教室及び一部特別教室に空調機を整備した。
- 市政施行10周年を記念し、市民融和の促進、郷土愛の醸成及び未来への飛躍をテーマとし、ダンス及び世界記録への挑戦など39の記念事業を実施した。

特 別 会 計	歳 入	歳 出
土 地 取 得	2億6,593万円	2億6,593万円
国 民 健 康 保 険	94億5,359万円	91億502万円
後 期 高 齢 者 医 療	9億9,748万円	9億9,233万円
介 護 保 険	43億895万円	40億4,752万円
西春駅西土地区画整理事業	5,919万円	5,919万円
公 共 下 水 道 事 業	22億9,444万円	22億1,126万円

一般会計及び特別会計の決算総額は、歳入457億9,766万円、歳出442億1,180万円、歳入歳出差引額15億8,586万円で、翌年度へ繰り越すべき財源4,615万円を差し引いた実質収支額は、15億3,971万円となり、その内の7億円程度は積み立て、残りは平成29年度に使います。

※本議会だよりでは1万円未満の端数切り捨てで記載しています。

## 予算

### 平成29年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算について

可決

会計名	補正額	補正予算の主な内容	予算現額
一般会計	1億9,535万円増	沖村西部土地区画整理事業特別会計への繰出金や、小中学校の防犯カメラ整備等	279億9,856万円
国民健康保険	1億7,856万円増	財政調整基金の積立金	95億5,856万円
後期高齢者医療	14万円増	後期高齢者医療広域連合の納付金	10億4,314万円
介護保険	2億3,219万円増	介護給付準備基金の積立金等	45億2,519万円
公共下水道事業	8,218万円増	過年度一般会計繰入金の返還金等	22億7,218万円

## 条例

### 北名古屋市健康ドームの設置及び管理に関する条例等の一部改正について

可決

市の公共施設（健康ドーム、総合福祉センターもえの丘、陽だまりハウス、公民館、文化勤労会館、総合体育館、総合運動広場、学校照明設備等）の使用料等を平成30年に改めるため、条例の改正を行った。

施設名(区分)	改定前	改定後
健康ドームアリーナ	2,160円	2,580円
陽だまりハウス多目的ホール	1,320円	1,560円
文化勤労会館大ホール	15,840円	18,990円
総合体育館多目的ホール	1,470円	1,740円

※改定使用料の一部（使用料は利用時間帯等により異なりますので、詳しくは各施設でご確認ください。）



健康ドーム

### PICK UP

この改定は、各施設の使用条件の均衡と、施設使用に係る市民負担の公平性を図ることを目的としています。なお、**平成30年10月**から使用料が改定されます。

# 一般質問

質問議員 13名



ここでは、一般質問の一部のみを掲載しています。一般質問の全ての内容は、動画や会議録（※）でご覧いただくことができます。市ホームページの「市議会」から「議会議録中継」「議会議録検索システム」を検索してご覧ください。  
※第3回定例会の会議録は11月10日頃掲載予定です。



市内の小学校

## 地域住民による避難所の運営等について

沢田 哲(市政クラブ)

「災害は避けられないものではなく、事前対策をたてることにより、災害は避けられる」と私は確信している。そのためにも、地域住民の皆様が「自分たちの命は自分達で守り、自分たちの地域は自分達で守る」という意識が定着する必要がある。熊本地震の被災地である益城町では、住民の方々が避難所の運営をされ、その後の仮設住宅の自治にもご尽力をされている。本市においても住民による避難所の運営等の検討は喫緊の課題であると考えますが、担当部局としての見解は。

### 防災環境部長

本市においても避難所運営については、避難者による自主運営を基本とするものと考えている。自主運営の必要性をご理解いただけるよう、今後も引き続き広報や防災講話等で説明していく。防災は行政のみでは限界があり、地域住民との連携により減災が図られるもの。そのため、情報の共有や、訓練等を通じた日頃からの信頼関係の構築を今後も図っていく。

### その他の質問

- ・防災タイムライン（防災行動計画）の策定について
- ・避難所の避難者対応および避難所運営について
- ・現在定められている防災施策の見直しについて
- ・大地震発生後の通電火災対応について
- ・各地区に点在する消火栓の保守管理について

## 今後の教育行政の方向性について

神田 薫(市政クラブ)

平成24年に市民協働による学びの支援推進事業として、市内3小学校がコミュニティ・スクールに指定され学校運営協議会制度が開始された。学校・家庭・地域が一体となった学校づくりに取り組み、学校運営協議会と学校ボランティア等を独自設計した北名古屋市版コミュニティ・スクールが出来上がった。本年度からは、全小中学校が北名古屋市版コミュニティ・スクールへと転換し、地域と一体で学校づくりに取り組み成果を上げている。

地域とともにある学校づくり、北名古屋市版コミュニティ・スクールを推進してきた視点から、今後の教育行政への取り組みの方向性は。

### 教育長

教育委員会では、学校と家庭に地域が加わった、地域とともにある学校を目指し、北名古屋市版コミュニティ・スクールの推進に取り組んでいる。当事者の「熟議」、市民の「協働」、校長の「マネジメント」がポイントとなり、よい地域がよい学校を創り、よい学校がよい地域を創ると考える。地域とともにある学校づくりを推進することが、市民協働を推進する一助となり、本市のステップ・アップとなるとの思いで今後も全力で取り組んでいく。

### その他の質問

- ・地教法の改正への対応について
- ・社会教育法の改正への対応について



小学校内の防災倉庫

## 本市の地区防災計画策定への啓発と 広報について 猶木 義郎(公明党)

地区防災計画は地区住民等が地域コミュニティの共助力向上のために、自発的に行う防災活動に関する計画である。地区で計画を作ることにより、自助・共助が担う避難所運営や緊急時の生活再建支援などの役割分担が明確になり、災害時の自助・共助・公助の連携が図られ、効果的に地域全体の防災総合力が向上することになる。本市の地区防災計画策定への啓発と広報についてどのように考えるか。

市行政の防災意識の高さに比例し、そこに住む市民の自助意識が高くなると言われている。本市は防災に対する意識が高いのだと、市民に示すことが、市民自らの身を守ることに繋がるのではないか。

### 統括参事

現在、本市で地区防災計画を作成された事例はない。自主防災組織の活性化、共助の促進のためにも市民による自発的で新しい活動は、歓迎をしたいと考える。このような活動が契機となり市内全域に波及するよう市民に広く紹介していきたい。また、市からの防災に対する市民意識向上のための啓発は非常に大切だと考えており、その方法について今後検討していく。

### その他の質問

- 本市の地区防災計画の考え方と取り組みについて
- 地区防災計画モデル事業制定について
- 人的支援策として専門家や職員の派遣について
- 地区防災計画の位置づけと市民等との連携強化を



長久手市で発行しているヘルプカード



## 障がい者福祉に対する取り組みにつ いて 間宮 文枝(公明党)

障がいの状態は様々であり、緊急時に意思を伝えられない知的障がいの方、内部障がいの方など外見から分からない要援助者を支援する施策として「ヘルプカード」がある。自分の障がい情報を周囲に伝えることにより、適切な支援を得ることができる。緊急時に一番の弱者となる障がい者の方を一人でも多く助けるためにも支援の声となるヘルプカードの普及が必要と考える。本市においても普及拡大を進めてみては。また、東日本大震災の際、視覚障がい者団体からの要望で作られた「目(耳)が不自由です」と記された障がい内容が誰の目からもわかり、支援の声にかわる「防災ベスト」のような対応手段を進めてみては。

### 社会福祉課長

要援助の方が、ヘルプカードを身につけることにより、必要な援助を受けられることは大きな安心に繋がる。東京都が作成したヘルプマークが経済産業省により全国共通マークとなったことにより今後普及し認知度が向上することが予想され、有効活用できることが期待できる。本市においても東京都標準様式を活用したヘルプカードの作成、広報、ホームページ等の周知を前向きに検討していく。防災ベストについては、視覚障がい者だけでなく、災害弱者の全体の問題として今後の検討課題としていく。

### その他の質問

- 図書館の今後の活用とサービスの拡充について



※出典 内閣府 障害者差別解消法リーフレットより

## 沖村西部地区開発について

大原 久直(日本共産党)

沖村西部地区開発は、いよいよ企業誘致が計画的に進められる段階に入った。この開発は市の財政を豊かにし、市民の雇用に繋がる大切な事業として取組まれている。市民の安全安心をも保障する開発にしてほしいことは市民の願いである。

①市民生活向上に寄与する企業の誘致を市民は強く望んでいる。平和憲法の日本、平和宣言都市と平和主義者の市長のもとで、間違っても軍事産業の誘致は避け、平和産業に限って誘致することはできるか。

②沖村西地区は現在ほとんどが田畑であり、豪雨時には一時的なダムの役割を果たしてきた。開発は集中豪雨時に被害が出ないように万全な対策をされたい。緊急遊水地も設置されるが充分か。

### 副市長

①当該地区での企業誘致に際しては、いわゆる防衛産業を積極的に誘致するものではなく、国の防衛や安全保障に係る産業・企業を否定・排除するものでもない。新たな雇用創出や地域貢献等により多くの付加価値を生み出し、将来にわたり事業が継続、発展することが見込める企業の選定を進める。

②当該地区は特定都市河川である新川の流域における新たな市街化編入であり、国及び県との協議も経て、隣接する水場川より確率年の高い新川本川と同等の30年確率に対応した調整池を設けていく。また、長期計画だが地下放水路の計画も県に要望する予定。

## 障害者差別解消支援について

松田 功(市民民進クラブ)

障害者の権利擁護に対する取組みの国際的な進展に伴い日本においても法の整備が進んでいる。平成20年4月に障害者差別解消法が施行し、障害を理由とする差別の解消に資する体制の充実を図ることとされた。全ての国民が、障害の有無により分け隔てられず、相互に人格と個性を尊重し共生する社会を実現するためには、障害者に対する社会的障壁を取り除くことが重要であるが、現状は差別や偏見はなくなっていない。こうした中、地域の実情に応じ差別解消に取り組む「障害者差別解消支援地域協議会」の設置促進が、期待されている。本市における障害者差別解消に向けた今後の取り組みは。

### 市長

本市では、昨年3月に策定した地域福祉計画の中で、市民、各種団体や企業、行政が協働するパートナーシップ型の地域福祉を推進している。また、障害者差別解消だけでなく、障害者虐待防止も含めた相談対応、権利擁護に携わる関係機関のネットワーク構築・連携に努めているが、本市単独では解決が困難なこともある。そのため、障害者差別解消支援地域協議会の機能を含めた尾張中部福祉圏域障害者支援協議会において、支援・虐待・差別の議論を一体的に重ねている。また、市独自に専門的な機関や団体等を集めた協議会の設置を検討していく。

### その他の質問

- 小学校のプログラミング教育について



沖村西部地区

## 投票環境の見直しについて

渡邊 幸子(市政クラブ)

以前の一般質問で、40年近く見直されていない投票区の再検証の質問をした際、「市民の皆様にもっと選挙への関心を高めてもらい、一人でも多くの有権者に自らの一票を投じていただくための環境づくりに力を入れて取り組まなければならない」との答弁があった。今回はその環境づくりについて質問する。期日前投票所の複数化、投票時間の延長、きたバスの活用方法などを見直すことで、有権者の負担が軽減できるような環境づくりができると考える。投票環境の向上に向けた取り組みの考えはあるか。

### 選挙管理委員会書記長

物理的な環境づくりだけではなく、普段から啓発活動により、政治や選挙への関心を高めていただく心の環境づくりも重要であると考え。また、総務省が公表している期日前も含めた投票環境向上に向けた取組事例を参考に、本市の規模・状況にあった投票環境のあり方について、研究を進め、若年層の投票意識の向上に努めるとともに、学校区を中心とした投票区の再編など、ご指摘の内容を踏まえ、引き続き投票環境の改善に向け取り組みを進めていく。

### その他の質問

- ・避難所等のトイレの整備について



薬師寺保育園(上)、熊之庄保育園(下)



投票箱

## 乳幼児の防災対策について

齊藤 裕美(公明党)

- ①みずから命を守ることができない乳幼児を預かる保育園や市内小規模保育所などでの、ミルクや紙オムツなどの備蓄は。またアレルギー対応は。
- ②保護者が職場等で被災し、お迎えに来られない場合、乳幼児の避難はどのように対応するか。
- ③熊之庄保育園と薬師寺保育園の統合に伴う、薬師寺保育園の跡地を、要配慮者のために防災機能を備えた施設として建て替える考えはあるか。

### 児童課長

- ①保育園では、ミルクと紙オムツを随時購入しているため対応は可能と考えているが、長期の避難生活には対応できない。一部の備蓄がない小規模保育所施設については今後検討していく。また、災害時のアレルギー対応については誰もが認識できるようにアレルギー内容を明記したものを園児の体に着ける。
- ②緊急連絡先の方々のお迎えを待つ間、園でお預かりするが、全ての方が来られないと判断した場合は、児童相談所への引き渡しを検討する。
- ③今後も0歳児から2歳児の保育需要の増加が見込まれるため、地域の方と調整し、地域の催事が行え防災機能を備えた、乳児保育施設を予定したい。

### その他の質問

- ・災害に備えストーマ装具の保管場所の提供について
- ・女性目線で備える防災について



ハザードマップ

## 国民健康保険の県単位化で本当の改革になるのか 渡邊 麻衣子(日本共産党)

来年4月から都道府県が財政運営の責任主体となる。この改革が高い保険税の解消と、市民の命と健康を守る制度になるのか大変懸念をしている。

- ①保険税の支払いがたいへん、子どもが多いほど負担が増えるという市民の声をどうとらえるか。
- ②県の試算では負担増となるが、この結果をどう認識されるか。また今後の試算はどんな見込みか。
- ③国から1,700億円が公費支援されたが、本市にはいくら交付され、どのように反映されたか。
- ④公費支援は不十分で国保の構造的矛盾は改善されない。この改革で安定した国保運営になるのか。
- ⑤今後の保険税決定のスケジュールは。

### 市民健康部長

- ①低所得者への負担の軽減措置を実施しているが、新制度では負担の増加は避けられない。納得と理解が得られる範囲で現実的な保険税率にしていく。
- ②不確定要素が多く実際の納付金額とは差異があると考える。また、今後の試算見込みは、現時点で算定方法も決定しておらず見込みようがない状況。
- ③年度を分けて約7,900万円と約8,500万円が交付され、法定外の繰入額を減額する措置を講じた。
- ④保険給付費全額を保険給付等交付金として県が負担するため、安定的な財政運営が図られる。
- ⑤来年3月の条例改正に反映し、その後議決を経て市民への周知を予定している。

### その他の質問

- 子育ての安心きっぷ「子ども医療費助成」の拡充を
- 保育園の統合民営化計画の具体的説明を

## 防災・減災対策について

上野 雅美(市民民進クラブ)

全国的に自然災害が頻発している。日頃からの防災・減災に向けた準備と発生後の対応が被害の拡大を防ぎ、迅速な復旧・復興につながる。また、公助、行政で出来る事には限界があり、自助としての個人の防災力の向上、共助としての地域コミュニティの力が重要である。その一例として自主防災マップの作成がある。これにより地域のリスクを住民自身で発見し、対策することにより共有ができ、コミュニティ活性化の地域課題解決へつながる。

- ①本市における自主防災会の現状と取り組み課題は。
- ②自主防災マップ作成について、民間との連携や補助金制度については。

### 防災環境部次長

- ①市の総合防災訓練の参加だけでなく、各地域でも初期消火訓練など、各種訓練が行われており、市はこの活動に対して消防署などと連携した人的支援、補助制度による財政的支援等をしている。課題としては、一部の団体で訓練の実施や補助制度の利用がないことであるが、地域の訓練へ積極的な参加をいただけるよう啓発に努める。
- ②県の地域共同事業の補助金制度を利用し、過去6地区で独自にまたは防災NPO法人の支援を得てハザードマップを作成し、大雨行動訓練を実施した。市の防災訓練では、防災ボランティアの指導の下、DIG訓練を実施し、ハザードマップを作成した事例もある。今後は、市民による自発的な活動に繋がる他の事例を研究していく。

### その他の質問

- カラーユニバーサルデザインについて



## 総合運動広場及び周辺の再整備を

黒川 サキ子(無所属)

平成27年8月に総合運動広場、呼称「稲葉篤紀ふるさと広場」が利用開始となり、多くの方が利用されている。稲葉篤紀さんの知名度や活躍は素晴らしく、東京オリンピックに出場する野球日本代表の監督にも決定されている。グラウンド整備にあたって稲葉篤紀さんが多額の寄附をされていることもあり、グラウンド及び周辺の整備は、利用される方が待ち望んでみえることだと思うが、

- ①グラウンド周辺の道路整備について。
- ②大型バス、マイクロバスの駐車場について。
- ③名古屋外環状線への看板の設置について。
- ④観覧席の設置について。
- ⑤西側のトイレについて。
- ⑥グラウンド周辺の公園整備について。
- ⑦今後計画のあるプールとの連携について。

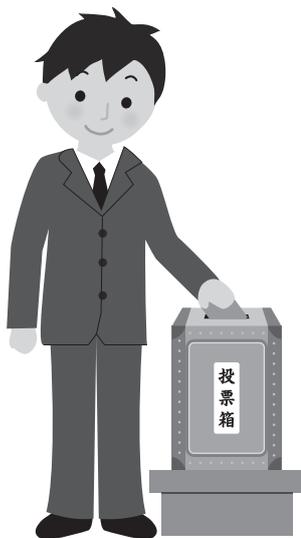
### スポーツ課長

日本を代表する存在となられた稲葉篤紀さんの名前にふさわしく、全ての利用者がマナー良く、いつも全力疾走・全力プレイができる施設を目指し、計画的な整備を進めていく。

- ①②関係各課と協議し、整備を検討していく。
- ③今年度中の設置に向けて事務を進める。
- ④⑤利用団体とも調整を図りながら、設置に向け検討していく。
- ⑥⑦周辺整備について関係各課と協議していく。

### その他の質問

- 運動広場等の屋外施設トイレの改修を



総合運動広場(稲葉篤紀ふるさと広場)

## 市長提案による住民投票条例の設置について

阿部 武史(無会派)

市長は、名古屋市と近隣市町との連携・合併について、市民の意向を踏まえながら推進していきたいと発言された。しかし、名古屋市との合併は、吸収合併となり、従来の合併特例法によれば、議会の議決で合併が決まる。今回の合併は、住民自治が担保されておらず、首長や議員で決めていい範疇を超えている。将来世代への責任を考慮した場合、市長提案による住民投票条例の設置が必要と考えるが。

### 市長

住民投票はその時の民意を反映しやすい一面があるが、十分な情報による議論がない段階で合併の是非を問うことは、対立した住民同士にしこりが残った事例がある。現在、合併の検討については、第2次総合計画の策定のテーマの一つとして挙げられ、長期的なまちづくりの選択肢の一つとして検討を進めている。最終的な判断は、拙速に結論を出すのではなく市民の方とさまざまな角度から地域の将来についてじっくり議論することが先決と考える。

### その他の質問

- 職員の公正な職務の執行の確保について
- 公職者からの不当な要求と「忖度」について
- 市長公約の進捗・達成状況について
- 改めて、公約になかった合併検討の位置づけについて
- 合併検討論の市民への説明責任について
- 合併検討論の近隣市町への影響について
- 次期市長選挙について

## 免許返納者に対するきたバス無料パスの配布について 梅村 真史(無会派)

平成21年6月から運転免許証更新の際、75歳以上のドライバーは高齢者講習を受講する前に検査を受けることが義務付けられ、また、平成29年3月から、特定の交通違反をした場合にも臨時の認知機能検査を受けることになった。これは高齢者の事故が社会問題となったからであり、市内でも死亡事故が起きている。高齢ドライバーの家族も、すごく心配されている方が多いと思う。一方で日常生活に車が必要な方が多くいる。今後ますます長寿社会となり交通弱者が増える予想されるが、「誰もが安全・安心に暮らせるまち」を市として実践していただきたい。

- ①交通弱者について市はどのように考えているか。
- ②社会参加の機会創出のためにも免許証自主返納者にきたバス無料パスを配布する考えはないか。

### 防災環境部次長

①様々な事情で運転免許の取得ができなかった、あるいは失ったことで、自由な移動ができない方と認識している。交通弱者の移動手段の確保は市の課題である。市民のニーズを見極め、関係機関等とも連携を図り、対策を進めたい。

②本市では高齢者運転免許証自主返納事業を行っているが、他の手法もよく検討し自主返納に向けた取組みを進めていく。無料パス導入については公共交通会議に諮る必要があり、その場合は自主返納者以外の高齢者にも配慮した案を示したいと考える。



きたバス

## 平成29年 第3回臨時会報告

平成29年第3回臨時会が8月21日に招集され、法人市民税の確定申告に伴い、法人税割額等を返還する補正予算についての議案を審議し、原案のとおり可決しました。

### 第3回臨時会

議案第35号	平成29年度北名古屋市一般会計補正予算(第1号)について
--------	------------------------------



## 議会だよりがアプリで読めるようになりました。

北名古屋市議会では開かれた議会への推進を図るため、議会だより『きたしる』がスマートフォンのアプリ【マチイロ】でも閲覧できるようになりました。



# マチイロ

# 委員会における審査報告

## ～主な議案質疑内容を紹介します～ 予算決算常任委員会

### 決算関係

#### 歳入全般



議員

前年度に比べ収納率が向上している要因をどのように捉えているか。

滞納の未然防止もあるが、東尾張地方税滞納整理機構に職員を派遣し、本市の市民税等滞納繰越額約7,600万円を回収する等、徴税吏員等職員全員が努力した結果。



財務部

#### 総務費



議員

財政指標の経常収支比率が大変厳しい状況だと思うが、どのように認識し、その要因は何か。

主な要因は法人市民税の法人税割納税額が約4億6,500万円ほど前年度に比べ下がったこと。また、合併特例債の償還額や物品購入費といった経常経費の増加がある。今後も経常収支比率を意識しながら計画的な執行に努める。



財務部

### ちょこっと解説!

経常収支比率とは、財政構造の弾力性を見るのに適した数値と言われています。

現在の北名古屋市の経常収支比率は94.8%です。これは家計に例えると、食費や子どもの学費、住宅ローンなどの使い道がすでに決まっている支払いの割合が、給料の94.8%を占めており、貯金やレジャーなど自由に使えるお金が残り5.2%しかないという状態です。

#### 衛生費



議員

大腸がんの郵送検診の対象は。また、受診の向上のためにも、対象を拡大する考えはないか。

大腸がんの無料クーポン券を使われてない方を対象に、昨年は試験的に実施した。今後問題がなければ、対象者の拡大も検討していく。



市民健康部

#### 土木費



議員

小牧市多気地内で建設中の大きなため池は、工事着手から十何年も経過している。北名古屋市としてどのように判断しているか。

中江川改修促進協議会で毎年進捗状況の報告をいただいている。下流域である北名古屋市にとっては大変重要な施設。完成に向けて市としても要望活動などに取り組んでいく。



建設部

#### 教育費



議員

給食の味や献立全般において、現場からはどのような評価を得ているか。

月1回、先生による献立会議で児童生徒の意見等をもらい、味や量等を次回の献立に反映している。児童生徒の反応として「おいしい」が概ね60%以上ある。



教育部

# 委員会における

## 教育費



中止になったマラソン大会で850万円の決算が上がっている。絞りに絞った額だとは思いますが、多少なり検討を加える余地はないのか。

中止の際に削除できる項目等を今後さらに詰めていきたい。リスク管理を行いつつ最低限の支出になるような形で考えていく。



## 消防費



防災訓練の地区訓練会場での訓練内容について、もっと現実的なものを考えてほしい。

訓練会場の地区によって参加者の防災に対するレベルが違う。どこに合わせるかという問題もあるが、一度訓練内容をよく見直し善処する。



## 後期高齢者医療特別会計



後期高齢者医療保険で、自己負担が3割と判定された場合でも、条件に該当すれば1割負担の区分になるが、この本人申請はどのようになっているか。

基準収入額申請については、事前にその対象者へ申請書を送り、ご返送いただいている。



## 補正予算関係

### 一般会計補正予算(第2号)について



経済的理由により就学困難な児童生徒等の援助費用を補正しているが、周知方法及び支給時期は。

10月から始まる就学時健診にて周知文の配付、広報やホームページの掲載を行う。支給は3月初旬を予定している。



学校への防犯カメラ設置について、台数と録画時間は。

小学校8校に計33台、中学校5校に計20台設置する予定。録画は24時間で、土日も継続して行う。



## 福祉教育常任委員会



猶木委員長



渡邊幸子副委員長



大野委員



松田委員



永津委員



渡邊麻衣子委員



梅村委員

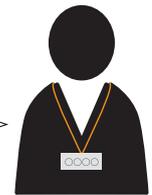
議案第48号 北名古屋市健康ドームの設置及び管理に関する条例等の一部改正について



議員

当日の予約ができない施設がある。当日でも可能になれば利用は増えると思うが。

文勤の予約は使用日の2日前までとなっている。今後利用者が使用しやすいよう検討していく。



教育部



議員

総合体育館や文勤のピアノ等、施設の良い物をもっとアピールするべき。ピアノの管理はどのようにしているか。

文勤では冷暖房のあるピアノ庫で保管し、調律や内部の解体掃除も行っている。ピアノ等を活かし利用が活発になるように考える。



教育部

## 建設常任委員会



牧野委員長



間宮副委員長



沢田委員



桂川委員



大原委員



山下委員



阿部委員

議案第51号 北名古屋市北名古屋沖村西部土地区画整理事業特別会計条例の制定について



議員

換地等を進めていくにあたり、どんなことに注意しているか。

地権者検討会を重ね、年明けには個人ごとの仮換地の説明を行う予定。十分に合意形成を図りながら進める。



建設部

# 委員会における審査報告

～主な議案質疑内容を紹介します～

議案第53号 名古屋都市計画事業北名古屋沖村西部土地区画整理事業施行条例の制定について



議員

企業誘致をされた場合、周辺を含めた交通状況についてどのように想定しているか。

本地区からの発生集中交通が、周辺の主要道路に及ぼす影響は、大きくないと考えている。なお、現在でも渋滞の多い路線へのアクセスは避けるよう誘導していく。



建設部



議員

在勤者や生活者の状況を考えたら、沖村西の交差点も含めて同時に進めていくべき。渋滞路線へのアクセスを避けて対応というのは希望的に言っているだけではないか。

今回の事業に合わせて交差点改良の要望や、必要な用地買収、拡幅工事も行っている。県道交差点の改良についても県と一緒に進めていく。



建設部

## 総務常任委員会



神田委員長



上野副委員長



黒川委員



長瀬委員



平野委員



齊藤委員

議案第43号、議案第44号について審査し、質疑は特にありませんでした。

## 本会議・委員会を傍聴してみませんか

本会議・委員会開催日(P19定例会の予定参考)に、市役所東庁舎4階東エレベーター前で傍聴受付を行います。



全員協議会室

本会議の受付時間は、午前9時30分から、委員会は会議開始30分前からとなります。

※委員会は先着10名となりますのでご了承ください。



第1委員会室

## 議会運営委員会視察

議会運営委員会は7月4・5日に山形県長井市及び寒河江市を訪問し、『市民と市議会との意見交換会』及び『議会でのタブレット端末の導入』をテーマに議会運営等について視察研修を行いました。

長井市議会では、平成24年から、年1回市民と市議会との意見交換会を開催しており、議長を除く全議員を3班に分け、市内6地区の公民館において行っています。意見交換会の開催は平日の夜に90分程度行い、最初の30分程度は議会報告を行い、残りの1時間程度は意見交換を行っています。意見交換会で出た意見や要望を集約して議会だよりに公表しています。また参加人数を増やすために、地元FMラジオを活用するなど工夫されていました。次に訪問した寒河江市議会では、議会でのタブレット端末の導入について実際にタブレット端末における資料などの閲覧



長井市役所



寒河江市役所

操作を確認しながら説明を受けました。今年の6月より運用を開始されており、導入による効果として情報伝達のリアルタイム化、事務の効率化、電子化によるコスト削減などを確認することができました。

本市議会においても検討中の課題もあり、今後の新たな取り組みとして、非常に参考となる内容でした。

## 平成29年 第4回 定例会の予定

12月1日(金)	本会議（初日）	<b>【請願書・陳情書の提出について】</b> 第4回定例会の審査対象となる請願書・陳情書の提出期限は、11月22日(水)の午後5時(予定)です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。
12月8日(金)	本会議（一般質問）	
12月11日(月)	本会議（一般質問）	
12月12日(火)	予算決算常任委員会	
12月13日(水)	福祉教育常任委員会	
12月14日(木)	建設常任委員会	
12月15日(金)	総務常任委員会	
12月19日(火)	鉄道連続立体交差事業等検討特別委員会	
12月22日(金)	本会議（最終日）	

# 議員自己紹介

## もっと身近に! 20名リレー

No.10



現在20名の議員で市議会を運営しています。議会を身近に!を目指し、毎号リレー形式で議員が自己紹介を行ってまいりましたが、いよいよ今回でラストです。



なが せ のり やす  
長瀬 悟 康

- 議席番号 / 20
- 市政クラブ
- 3 期目

### 趣味

囲碁、黒鯛釣り

### 好きな言葉

盡忠報郷 晴釣雨読

### 尊敬する人・好きな芸能人

- ・山本 昌(元中日ドラゴンズ投手)
- ・藤本 那菜(スマイルジャパンG.K)

### 市民へメッセージを

市民の幸せのためのまちづくりに取り組みます。



くろ かわ さきこ  
黒川 サキ子

- 議席番号 / 21
- 無会派
- 3 期目

### 趣味

日本舞踊、スポーツ観戦

### 好きな言葉

人生くいのないように!今を大切に

### 尊敬する人・好きな芸能人

- ・義母
- ・五郎丸 歩(ラグビー選手)
- ・田臥 勇太(バスケットボール選手)

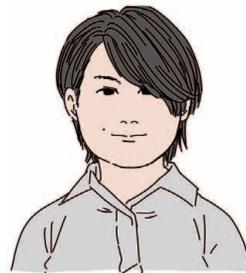
### 市民へメッセージを

健康第一!!笑顔で毎日過ごしましょう!!

## 表紙紹介

島田 夏帆さん

この作品は、「西春駅周辺の紅葉」というテーマで名古屋芸術大学の学生さんに描いていただきました。



作者本人イラスト

## 編集後記

今回の議会だよりでは、市民の代表である市議会議員が、よりよい北名古屋のまちづくりを推進する活動を知っていただきたく、その一例として、一般質問のその後についてを掲載させていただきました。

そんな市議会議員ですが、10月に1名失職し、19名で活動させていただくことになりました。残り約半年の任期ではございますが、前を向き、全力で走ってまいります。

今後とも市議会に対しご理解とご協力をお願いいたします。

